



油の流出事故対策の演習を行いました

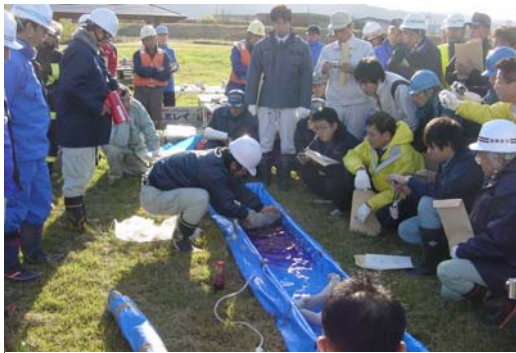
～ 平成22年度 オイルフェンス組立設置演習について ～

11月も残り僅かとなって季節は確実に冬に向かっていますが、この冬期間には、各家庭や事業所などで暖房用の灯油や重油を扱う機会が多くなり、例年、各地で油の流出事故が多発している時期です。

雄物川の流域でも、特に各家庭において、タンクの老朽化による破損や、ポリ容器への移し替えの際の下手際などにより、灯油が近くの側溝に流入し、そのまま排水路などを經由して、河川に流出する事態が後を絶ちません。

このような油流出事故などに早急、且つ適切に対応するために設けられた、雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会（国や県機関、市町村や消防機関などで構成）では、毎年この時期に活動の一環として、オイルフェンスの組立設置演習を実施しており、協議会の上流支局である湯沢河川国道事務所管内でも、平成22年11月11日（木）に、湯沢市山田地内の松ノ木河川公園を会場に、協議会の構成機関から約80人の関係者が集まって演習を実施しました。

演習では、油類の特徴や対策工法の説明、またオイルフェンスの連結方法や、オイルフェンスの設置実演などが行われ、参加された関係者の方々におかれては、実際の油流出事故に対応するための知識を会得するために、熱心にメモを取られたり、写真を撮られたりしている姿が見られました。



吸着マットを使用した油の回収実験



オイルフェンスを連結する練習



オイルフェンスの設置演習



油の取扱いは慎重に行いましょう！